

授業概要

日本語学の基礎を確認しながら、現代日本語の文法的な規則を振り返る。そして、認知言語学による現代日本語文法へのアプローチを探っていく。そこから、国語教科書を題材に、その言語現象を文法的観点から検討する。国語教育をはじめとした社会につながる国語力を身につけていく。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	認知言語学の文法観
第3回	社会の中の国語力と学校の中の国語力
第4回	推論と意図理解
第5回	<文字通りでない意味>の日常性
第6回	似ていない比喻
第7回	文法とレトリック
第8回	物語における<文字通りでない意味の理解>
第9回	比喻からみた慣用句
第10回	文章に書いていないことを読む
第11回	文法と視点
第12回	話しことばにおける<文字通りでない意味>の理解
第13回	コミュニケーションからみた文法
第14回	現代日本語の用例の収集と整理の方法
第15回	授業のまとめ
第16回	レポート提出

到達目標

1. 日本語の文法に関する、概念・機構・機能などの特質の理解することができる。
2. 日本語の文法の調査・分析の方法を身につけ、その研究実践を行うことができる。
3. 日本語の文法について、認知言語学の観点から考察することができる。

履修上の注意

遅刻・欠席はしないように。
毎回リアクションペーパーを提出してもらう。

予習復習

その日のテキストの該当箇所を予め読んでおく。
配布されたプリントを読み返す。

評価方法

①期末レポート 50%、 ②小課題 40%、 ③平常点、授業参加への積極性 10%

テキスト

・教科書名：『社会につながる国語教室—文字通りでない意味を読む力』
・著者名：菅井三実
・出版社名：開拓社
・出版年 (ISBN)：2021年 (978-4-7589-2592-1)
その他にも授業資料も配布する。参考文献は教場で適宜紹介する。